

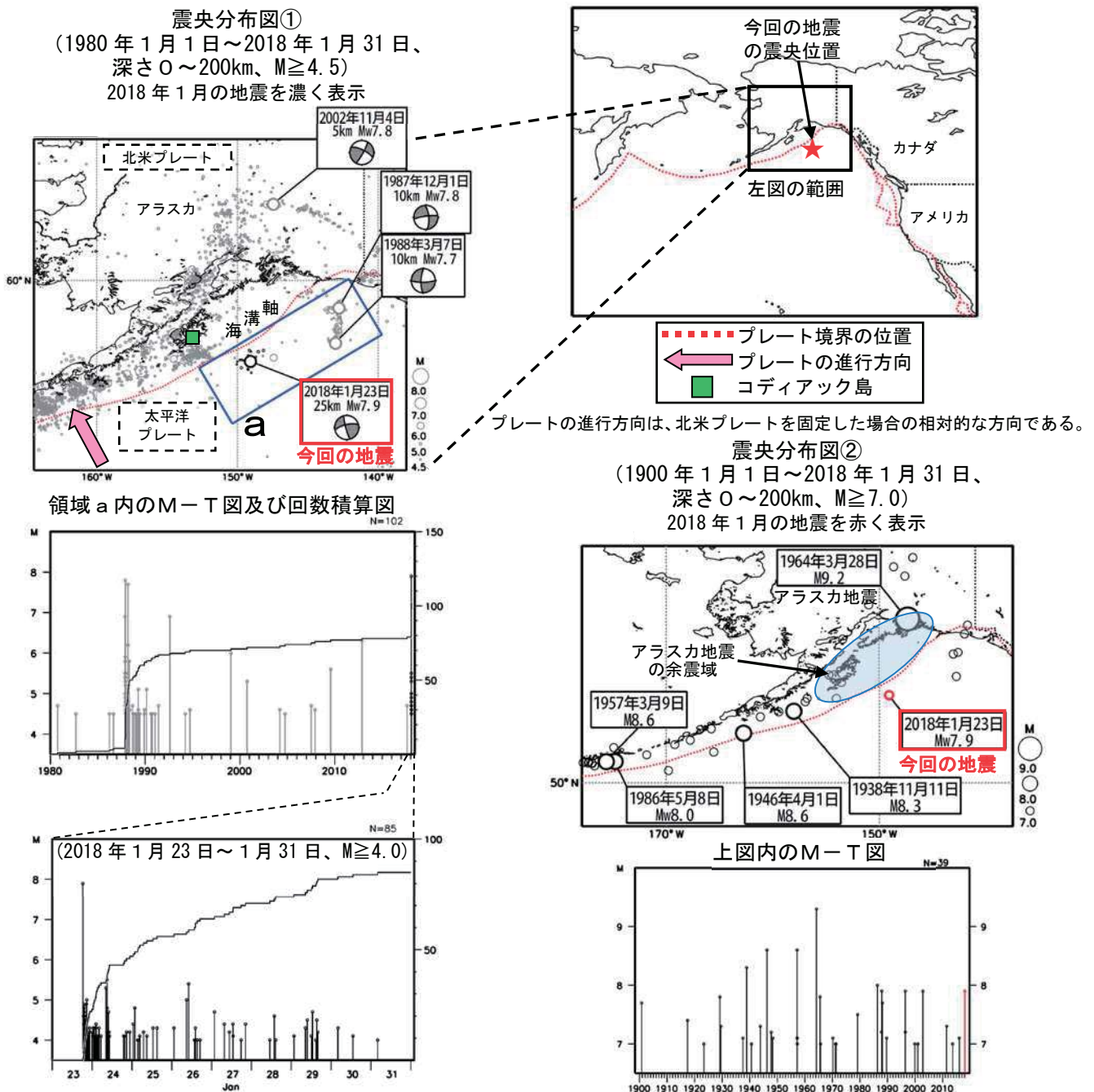
## 1月23日 アラスカ湾の地震

2018年1月23日18時31分(日本時間、以下同じ)にアラスカ湾の深さ25kmでMw7.9の地震が発生した。この地震は発震機構(気象庁によるCMT解)が西北西-東南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、北米プレートの下に沈み込む前の太平洋プレート内部で発生した。今回の地震の発生後、今回の地震も含めM4.0以上の地震が85回発生している(1月31日現在)。

気象庁は、この地震に対して、同日18時56分に遠地地震に関する情報(日本への津波の有無について調査中)、同日19時50分に遠地地震に関する情報(日本への津波の影響なし)を発表した。この地震によりコディアック島(アメリカ)で21cmの津波を観測した。この地震による被害はなかった。

1980年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域a)では、時々M6を超える地震が発生しており、1990年前後には、1987年12月1日にMw7.8、1988年3月7日にMw7.7の地震が発生するなどまとまった地震活動がみられた。

1900年以降の活動をみると、アラスカ周辺では、1964年3月28日に最大級規模の地震(アラスカ地震)(M9.2)が発生し、死者131人等の被害が生じている。



※本資料中、震央分布図①内の今回の地震の発震機構とMwは気象庁、その他の地震の発震機構とMwはGlobal CMTによる。今回の地震の被害状況は、OCHA(UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所)による(2018年1月31日現在)。震央分布図②内の2013年以前の地震の震源要素は国際地震センター(ISCSEM)による。その他の震源要素はいずれも米国地質調査所(USGS)による(2018年1月31日現在)。1964年3月28日の地震(アラスカ地震)のMと被害は宇津の「世界の被害地震の表」による。津波の高さは、米国海洋大気庁(NOAA)による(2018年1月31日現在)。プレート境界の位置と進行方向はBird(2003)\*より引用。\*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochimistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.